

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名

丸子地域自治センター

【令和2年度重点目標】

重点目標	人と環境に優しい安全・安心なまちづくり		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	<p>【東日本台風による被災箇所の早期復旧（上田市事業）】</p> <p>(1) 〔道路災〕向井6号線含む5路線 (2) 〔河川災〕箱畳沢川含む11河川 (3) 〔橋梁災〕馬坂橋・三角橋・小屋坂橋3橋</p> <p>【東日本台風による被災箇所の早期復旧（県事業）】</p> <p>(1) 橋梁災 内村橋 橋長=43.0m幅=13.3m (2) 災害関連緊急砂防事業（梅ノ木沢含む6か所）</p> <p>【安全性・利便性向上のための道路整備促進】</p> <p>(1) 〔都市再生〕箱畳線道路改良事業 (2) 〔都市再生〕上丸子石井線道路改良事業 (3) 〔公安〕金井線道路改良事業</p> <p>【千曲川・依田川合流地点の河川環境整備】</p> <p>(1) かわまちづくり事業 詳細設計業務・協議会、分科会の開催</p> <p>【上田圏域と松本圏域の主要幹線道路等の整備促進】</p> <p>(1) 国道254号（平井・荻窪）バイパス (2) 荻窪丸子線 (3) 芦田大屋（停）線 (4) 別所丸子線 (5) 国道254号 東内・西内地域で「道の駅」計画検討</p> <p>【資源循環型社会構築に向けた再資源化等の促進】</p> <p>(1) ごみ分別の徹底と生ごみ減量化施策の啓発 (2) 容器リサイクル法に基づくプラごみの適正分別の周知</p>	<p>【東日本台風による被災箇所の早期復旧（上田市事業）】</p> <p>(1) ~ (3) 4月~3月完成。(3)の馬坂橋は、下部工完成。</p> <p>【東日本台風による被災箇所の早期復旧（県事業）】</p> <p>(1) ~ (2) 早期完成に向けて県と連携をして実施する。</p> <p>【安全性・利便性向上のための道路整備促進】</p> <p>(1) 用地契約 N=9件、建物等補償契約 N=6件 (2) 用地契約 N=1件、建物等補償契約 N=4件 (3) 補償算定業務 N=1件 (1) ~ (3) 4月~3月完了。</p> <p>【千曲川・依田川合流地点の河川環境整備】</p> <p>(1) 詳細設計業務 N=1件・協議会、分科会 各2回開催</p> <p>【上田圏域と松本圏域の主要幹線道路等の整備促進】</p> <p>(1) ~ (4) 県事業で実施中であり、早期完成に向けて県と連携をして実施する。(5) 休息・防災・地域活性化施設の検討（直売所）4月~3月</p> <p>【資源循環型社会構築に向けた再資源化等の促進】</p> <p>(1) 自治センターだより等による周知 (2) プラごみの未回収件数対前年度比5%削減</p>	<p>【東日本台風による被災箇所の早期復旧（上田市事業）】</p> <p>(1) 〔道路災〕完了2路線、施工中3路線 (2) 〔河川災〕施工中10路線、入札待ち1路線 (3) 〔橋梁災〕施工中2路線、設計中1路線</p> <p>【東日本台風による被災箇所の早期復旧（県事業）】</p> <p>(1) R2.8.28に第2回の地元説明会を行った。工事完了工期が約8ヶ月短縮されることになった。(2) 5箇所は、工食用道路を施工中。1箇所は、用地交渉に時間を要したため、工事が遅れている。</p> <p>【安全性・利便性向上のための道路整備促進】</p> <p>(1) 用地交渉中 5名 1件の建物補償の契約ができた。(2) 建物等補償3件 契約済 (3) 補償算定業務N=1件 発注済</p> <p>【千曲川・依田川合流地点の河川環境整備】</p> <p>(1) 詳細設計業務N=1件 発注済、協議会・分科会 各1回開催</p> <p>【上田圏域と松本圏域の主要幹線道路等の整備促進】</p> <p>(1) R2.9.2に平井バイパスの一部が供用開始となった。(2) 1名の地権者と用地交渉中。(3) 一部、業者が決定できず時間を要している。(4) 最終工事区間の発注ができた。(5) 庁内で方向性を決定し、事業実施に向けて関係機関と協議中。</p> <p>【資源循環型社会構築に向けた再資源化等の促進】</p> <p>(1) 適正なごみの分別と収集日の変更について等の広報 ・丸子地域自治センターだより9月号掲載。・丸子地域ゴミの出し方カレンダー全戸配布。 ・丸子地域内ごみ集積所に掲示看板設置 483箇所 (2) プラごみの未回収件数 9月末現在456件 前年度同期798件</p>
2	<p>重点目標 産業が育つ地域づくり</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>【地域の特性を活かした農業とワイン産業振興】</p> <p>(1) キリングループとのワイン産業振興を軸にした地域活性化 ①人材育成・産業振興・青少年育成のプロジェクト推進 ②プロジェクト事務局運営 (2) 梔子ワイナリーと地域との共生 ①メルシャン（株）との共同によるワイナリーを活かした地域活性化 ②地元の農業・商業者等の参加による地域の農産物の周知PRや地元商業者の活性化 (3) 「HEARTBEATまるこ」とキリンCSVとタイアップした支援 ①地元飲食店との連携による料理開発やイベント開催の運営支援 ②地元団体との連携・協力による地域活性イベントの開催</p> <p>【地域の6次産業化の推進】</p> <p>(1) 西洋梨産地化プロジェクト事業の推進</p> <p>【国道254号バイパス建設に合わせた農業基盤整備】</p> <p>(1) 県営 中山間総合整備事業（美の郷地区）の事業推進（荻窪を含む11工区）</p> <p>【地域資産を活かした産業・地域振興】</p> <p>(1) 梔子ワイナリー・あさつゆ・信州国際音楽村の3施設連携による産業・地域振興</p>	<p>【地域の特性を活かした農業とワイン産業振興】</p> <p>(1) ①プロジェクトチーム4班での活動実施 ②総会開催12月 (2) ①梔子マルシェへの市内・市外客の誘客増 ②地元参加延べ20団体（企業） (3) ①ツーリズムのテストツアー開催 ②ワイナリー等との連携イベント開催</p> <p>【地域の6次産業化の推進】</p> <p>(1) 商談会展及び販路の新規開拓 2件</p> <p>【国道254号バイパス建設に合わせた農業基盤整備】</p> <p>荻窪を含む11工区 (1) 11工区の事業進捗を図る</p> <p>【地域資産を活かした産業・地域振興】</p> <p>(1) 連携に向けた支援</p>	<p>【地域の特性を活かした農業とワイン産業振興】</p> <p>(1) ①地域リーダー洗出し、イベント計画・BYO試行・環境保全授業等を4つのワークショップで、検討・推進した。 ②5月・7月・9月にスタッフミーティングを行い、各ワークショップの進捗状況を確認した。(2) ①新型コロナウイルス感染症の影響でイベントを見送り。関係部局と連携し、ふるさと納税返礼品追加、路線バス停留所新設やヴィンヤード世界30位等の広報で誘客を図った。 ②春の梔子マルシェは、コロナ禍のなか開催を見送り再調整を図った。(3) ①10月末の農業体験型観光ツーリズムツアー開催に向け、会議に参加し助言や支援を行った。 ②8月22日に夏のマルシェを開催し、地元飲食店と連携し「すしプリトー」や、西洋梨ジャム「まるこの夢」を販売。</p> <p>【地域の6次産業化の推進】</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響から首都圏の出展はできず、9月に農産物直売所での直販3日間や、和菓子屋でのパフェの日に西洋梨が採用される等の販路拡大を図った。</p> <p>【国道254号バイパス建設に合わせた農業基盤整備】</p> <p>(1) 11工区中：工事完了1件、工事着手2件、他工区調整中（工事着手）1件、発注調整中1件 地元調整中（測量設計）4件、地元調整中（事業用地）1件、設計業務（河川協議）1件</p> <p>【地域資産を活かした産業・地域振興】</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等中止となり連携方法等検討協議中。</p>

重点目標	参加と協働によるまちづくり		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
3	<p>【丸子まちづくり会議の運営基盤づくりに向けた連携・協働の取組み】</p> <p>(1) 丸子まちづくり会議との協働による事業の取組み</p> <p>(2) 地区会議との協働による事業の取組み</p> <p>【自治センター整備事業】</p> <p>(1) 自治センターの耐震化・改修工事</p> <p>(2) 自治センター設備改修バリアフリー工事</p> <p>【パートナーシップ協定による地域活性化と人材育成】</p> <p>(1) 市・市商工会・丸子修学館高校の連携して行う事業への取組み</p> <p>【市民サービス向上に向けた更なる窓口業務の充実】</p> <p>(1) 丁寧かつ確かな窓口や電話対応と迅速かつ正確な事務処理。</p> <p>(2) 丸子地域自治センター耐震化工事に伴い、ワンストップサービス実現のため再配置。</p>	<p>【丸子まちづくり会議の運営基盤づくりに向けた連携・協働の取組み】</p> <p>(1) まちづくり会議との連携事業の推進</p> <p>(2) 地区会議への参画</p> <p>【自治センター整備事業】</p> <p>(1) 耐震化・改修工事の竣工</p> <p>(2) 庁舎のバリアフリー化計画の策定</p> <p>【パートナーシップ協定による地域活性化と人材育成】</p> <p>(1) 継続事業を充実させ、新規事業により中心市街地の活性化と、若者の人材育成を図る。</p> <p>【市民サービス向上に向けた更なる窓口業務の充実】</p> <p>(1) 窓口や電話対応に対する苦情、事務処理誤り「0」を目指す。</p> <p>(2) 健康・高齢者・福祉子育て部門ワンストップサービス実施。</p>	<p>【丸子まちづくり会議の運営基盤づくりに向けた連携・協働の取組み】</p> <p>(1) 連携事業について、モデル地域を決めて試行していく中で、詳細について協議継続中。</p> <p>(2) コロナ禍の中での事業実施は、必要最小限に限定するか、中止せざるを得ない状況のため、参画については見合わせている。</p> <p>【自治センター整備事業】</p> <p>(1) 耐震化・改修工事の進捗は、ほぼ予定とおりで9月末約58%</p> <p>(2) 庁舎のバリアフリー計画策定では、施設個別計画（素案）作成済。</p> <p>【パートナーシップ協定による地域活性化と人材育成】</p> <p>(1) 5月27日に事業計画を協議。コロナ禍で各種イベントは中止とした。今後継続事業について、できる事業を精査し、可能な範囲で実施を検討中。</p> <p>学校要望の新規事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、縮小する方向で調整と準備をする。</p> <p>【市民サービス向上に向けた更なる窓口業務の充実】</p> <p>(1) 苦情・問い合わせ等について、大きなトラブルに至ることなく、処理することができた。</p> <p>軽微な事務処理誤りが発生したが、情報を共有することにより、再発しないよう処理方法を再度確認した。</p> <p>(2) 自治センター耐震化工事中により、仮事務所について来庁者を混乱させることなく、案内が出来るよう窓口カウンターに職員を配置する等工夫を行った。</p>
重点目標	現代のライフスタイルにあった丸子温泉郷の振興		
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
4	<p>【温泉を活かした地域活性化事業の推進】</p> <p>(1) 現代のライフスタイルにあった温泉地を目指す「環境省」（新湯治プラン）の推進</p> <p>(2) 鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクトマスタープランⅡに基づく取組みへの参画</p> <p>(3) 霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクトの取組みへの支援による丸子温泉郷の誘客の推進</p>	<p>【温泉を活かした地域活性化事業の推進】</p> <p>(1) 「健康と温泉に関するフォーラム」の実施</p> <p>(2) イベント参加者前年対比5%増</p> <p>(3) イベント支援</p>	<p>【温泉を活かした地域活性化事業の推進】</p> <p>(1) 2～3月ごろ開催に向け検討・調整中。</p> <p>(2) 実行委員会に参加（3回）し、スタンプラリー形式のイベントを企画・調整中。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント中止。</p> <p>コロナ禍で経営が悪化している丸子温泉郷の宿泊業者に対し、宿泊定員数や温泉使用料に応じた支援をしたほか、観光協会や旅館組合の会費収入見込み相当額を支援し、観光振興を下支えした。</p>

※ 評価基準 [◎：目標を上回る進捗] [○：目標どおり進捗] [△：未進捗の部分あり] [×：全て目標未進捗]